

香里ヶ丘図書館建替え基本計画（素案）概要

計画作成の趣旨

- * 香里ヶ丘図書館は昭和 49 年の開設以来、市民に親しまれ、図書館分館の中で 2 番目に貸出冊数の多い市南部地域の拠点図書館
- * 築 42 年を経て、雨漏りや壁にクラックが入るなどの老朽化に加え、以前の自動車文庫基地スペースが残っているなど、敷地を有効に活用できておらず、閲覧室が狭く、バリアフリー化も遅れている
- * これらの課題を解決するとともに、再生事業が進む香里ヶ丘地域の活性化と魅力アップ、定住人口の増加に資するため、香里ヶ丘図書館の建替えを進めるにあたり、「香里ヶ丘図書館建替え基本計画」をまとめる

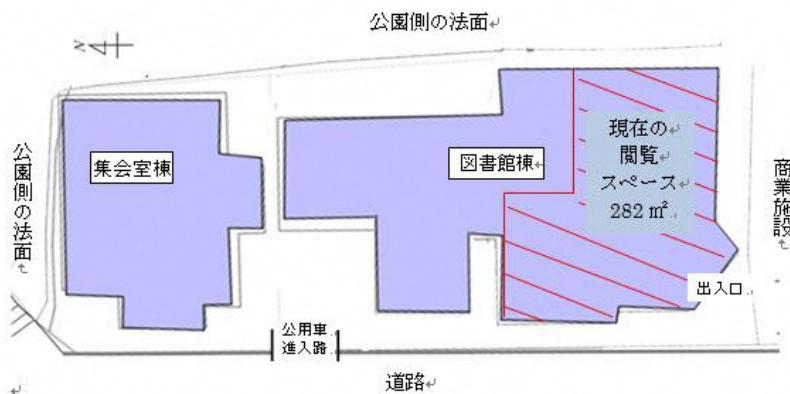
第 1 章 香里ヶ丘図書館の現状と課題

(1) 香里ヶ丘図書館の現状

①施設概要

- 図書館棟 鉄筋コンクリート造り 2階建て 昭和 49 年 11 月建造（築 42 年）
- 集会室棟 軽量鉄骨造 平屋建て 平成 5 年 8 月供用開始（築 23 年）

②施設の配置図



(2) 香里ヶ丘図書館をめぐる課題

①施設面の課題

- a. 施設の老朽化
- b. バリアフリー化の遅れ
- c. 狭隘な閲覧スペース

(参考) 楠葉図書館との比較

項目	香里ヶ丘	楠葉
閲覧スペース	約 282 m ²	約 473 m ²
蔵書冊数	93,411 冊	88,338 冊
貸出冊数	422,793 冊	473,852 冊
閲覧スペースあたり貸出冊数 (冊/m ²)	1,499 冊	1,002 冊
延利用人数	135,960 人	164,099 人

貸出は全分館中第 2 位

②図書館サービスに係る課題

- a. 南部地域における拠点図書館にふさわしいサービス・施設機能の提供
 - * 全分館中第 2 位の貸出があり、広範囲から利用のある南部地域の拠点図書館にふさわしい施設規模・機能の提供が必要
- b. 高齢者をはじめとする地域住民のための居場所機能の提供
 - * 香里ヶ丘図書館の登録者中、自由な時間を有する 60 歳以上の世代が占める割合が 27% であることを踏まえ、これからの香里ヶ丘図書館は、従来の蔵書の貸出中心のサービスから、ゆったりと図書館で一日を過ごしていただけるような市民の居場所機能も兼ね備えた

場となることが必要

- c. 子育て・若者世代の役に立つ身近な悩み・問題の解決や学習の支援機能の強化
 - * 香里ヶ丘地域は再整備が進行中で、子育て・若者世代の定住が期待できる地域であり、定住促進のため、子育て・若者世代をターゲットとした、環境整備と子ども読書活動を推進する事業などのサービス提供を積極的に進めていくことが必要

③香里ヶ丘地域の魅力アップに寄与するための課題

- a. 緑の公園や周辺地域と一体感があり、地域全体の活性化に寄与する図書館
 - * 緑多い公園や並木にとけこみ、周辺施設とも美観上の統一感のある図書館を建設し、新たな香里ヶ丘図書館の建設そのものが、地域全体の活性化につながることを期待されている
- b. 香里ヶ丘地域の歴史を後世に伝える地域資料の収集・提供
 - * 軍需工場の跡地に生まれた、当時東洋一のマンモス団地と呼ばれた香里団地を中心とするこの地域の特徴的な歴史を物語る地域資料を収集・提供し、後世に伝えていくことが必要
- c. IT機器等を活用した情報提供環境の充実
 - * IT機器等の発展と日常生活への定着状況を踏まえ、Wi-Fi 環境の整備等、現代の市民のライフスタイルに合わせた多様なサービス提供が必要

④民間ノウハウを活用した魅力的かつ効果的・効率的な運営

- a. 設計における民間ノウハウの活用
 - * 魅力的な外観と室内空間を持つ香里ヶ丘地域のランドマークとなるような建築にするため、民間の豊富な実績と優れたアイデアを活かす方法の採用が必要
- b. 室内空間の活用及び図書館運営における民間ノウハウの活用
 - * 図書館の空間活用に関して、斬新なアイデアの提供が期待できる民間事業者が持つノウハウの活用が必要。また、香里ヶ丘図書館におけるサービスの向上と効果的・効率的な図書館運営を実現するためには、指定管理者制度の導入が有効

第2章 香里ヶ丘図書館の建替えと今後のサービス提供に係る基本的考え方

(1) 施設整備の考え方

①方式

- * 建替え

②建替えの概要

- a. 建替え地
 - * 現在地（香里ヶ丘4丁目2-1）にて建替え。また、現香里ヶ丘図書館用地は、都市再生機構（UR）から図書館設置を目的として借地しており、建替え後も現在の土地賃貸借契約を継続するために必要な手続きを進める。
- b. 敷地面積・床面積

項目	整備計画(2階建て)	現在(図書館棟・集会室棟合計)
敷地面積	約 1,823 m ²	約 1,823 m ²
床面積	約 1,200 m ² (1階 920 m ² ・2階 280 m ²)	約 1,209 m ²

(注) 2階(280 m²)には、集会室機能を有する部屋を設置予定

c. 施設内の面積

機能	床面積(想定)
資料・情報提供機能[1階]	560 m ²
集会室機能(多目的室)[2階] (図書館や他部署主催のイベントや行政利用時間帯を除く、多目的室の市民への一般貸出の開始[有料化を検討])	210 m ²
管理機能(事務室・書庫・機械室・玄関ロビー・トイレ・階段等)[1階・2階]	430 m ²
計	1,200 m ²

③期間

- *平成31年度中の建設終了、平成32年度早期のオープンを目途に整備を行う。
- *休館中は南部生涯学習市民センターにて予約図書等の受け渡しを行うとともに、週に1回程度自動車文庫の巡回サービスを実施するなどの代替サービスを行う予定。

(2) 新たな香里ヶ丘図書館の蔵書規模

	児童書	一般書	合計	うち開架	うち閉架	貸出冊数
現香里ヶ丘図書館 (H27)	32,227	61,124	93,411	60,451	32,960	422,793
	(収蔵能力は計10万冊)					
新香里ヶ丘図書館	35,000	65,000	100,000	50,000	50,000	530,000

(注) 新たな香里ヶ丘図書館は、以下のコンセプトにもあるとおり、滞在型図書館、課題解決型図書館をめざし、従来の貸出中心の図書館と比較して、閲覧スペースや自習スペース、子どもと保護者がゆったりくつろげるスペースの拡大に努めるため、開架冊数を抑える

(3) 新たな香里ヶ丘図書館のコンセプト

香里ヶ丘図書館の建替えと今後の運営については、以下のコンセプトに基づき整備を進める

コンセプト①：南部地域における拠点図書館
コンセプト②：気軽に立ち寄り、ゆったりと過ごせる滞在型図書館
コンセプト③：子育て・若者世代の役に立つ課題解決型図書館
コンセプト④：緑の公園や周辺地域と一体感があり地域の魅力向上に寄与する図書館
コンセプト⑤：民間ノウハウを活用した魅力的かつ効果的・効率的な運営を行う図書館

第3章 香里ヶ丘図書館の建替え計画

- (1) 新たな香里ヶ丘図書館のコンセプトの施設・サービスへの反映
- (2) 施設・敷地に付与する機能

(参考資料)
「香里ヶ丘図書館建替え基本計画(素案)」11ページ以下参照